

## 第 44 回 日本医学放射線学会秋季臨床大会案内 (I)

理事長 大友 邦  
第 44 回秋季臨床大会会長 宍戸 文男

第 44 回日本医学放射線学会秋季臨床大会を下記の要領で開催致します。  
多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 期 日： 2008 年 10 月 22 日 (水) , 10 月 23 日 (木) , 10 月 24 日 (金)
2. 会 場： ビッグパレットふくしま  
〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保 19-8  
TEL : 024-947-8010 <http://big-palette.jp/>
3. 大会テーマ：「人間に優しい放射線診療」
4. 内 容：
  - (1) 教育講演
  - (2) リフレッシュャーコース
  - (3) 特別講演
  - (4) シンポジウム
  - (5) イメージインタープリテーションセッション
  - (6) 教育展示
  - (7) 一般演題ポスター展示

以上についての詳細は、本誌誌上でお知らせ致します。

なお、救急放射線研究会、頭頸部放射線研究会、電子情報研究会、胸部放射線研究会が併催されます。これらの詳細は本誌誌上でお知らせ致します。

### 5. 連絡先：

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地  
福島県立医科大学医学部放射線医学講座内  
第 44 回日本医学放射線学会秋季臨床大会事務局 橋本 直人  
TEL : 024-547-1334 FAX : 024-549-3789  
E-mail : [jrs44@convention.co.jp](mailto:jrs44@convention.co.jp)  
URL : <http://www2.convention.co.jp/jrs44>

## 第 19 回 放射線科認定医 (旧一次) 認定試験について

理事長 大友 邦

下記のごとく第 19 回放射線科認定医 (旧一次) 認定試験を行います。受験希望者は必要書類を添えて期日までに出席してください。

試験の期日	平成 20 年 8 月 22 日 (金)
試験の場所	東京都内
試験の内容	1) 放射線診療全般 (診断, 核医学, 治療) における基礎知識 2) 臨床放射線科医としてわきまえておくべき放射線物理学, 放射線生物学, 放射線管理 (放射線防護を含む)
試験の方法	筆記試験 (第 18 回平成 19 年 8 月 24 日施行の試験問題は学会ホームページに掲載されています。)
受験手続	出願開始 平成 20 年 4 月 7 日 (月) 締 切 平成 20 年 5 月 16 日 (金) 必着

- ◎ 受験を希望される方は、返信用封筒 (A4 サイズの封筒) に 140 円切手 (一次願書と表記し) を貼り, 自分の宛先 (住所・氏名) を記入して学会本部に申し込めば必要書類を送付します。
- ◎ 認定試験の受験資格  
認定試験は, 学会の会員で, 次の各号に該当するものでなければ受験することができない。
  - (1) 日本国の医師免許を有すること。
  - (2) 医師法 (昭和 23 年法律 201 号) 第 3 条および第 4 条の規定に該当しないこと。
  - (3) 受験の時点で, 医師免許取得後 3 年以上で本学会員となって 2 年以上が必要である。
  - (4) 上記 3 年のうち少なくとも 2 年は学会が認定した修練期間での修練が必要である。協力機関において受ける修練は修練期間の 1/2 まで認められている。総計の修練期間は 20 年 5 月末日まで少なくとも 2 年が必要である。
- ◎ 出願に当たっての質問は, 書面で専門医認定委員会に問い合わせてください。
- ◎ 学会本部 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号  
NP-II ビル 3 階  
社団法人 日本医学放射線学会

## 第 17 回 放射線科専門医認定（旧二次）試験について

理事長 大友 邦

下記のごとく第 17 回放射線科専門医認定（旧二次）試験を行います。  
（高度の臨床放射線学を理解し画像診断部門、または放射線治療部門における専門的知識をもち、研修課程の放射線科医師・他診療科医師を指導できる臨床能力を評価する）  
これは二段階試験（認定医試験・専門医試験）のうちの専門医試験です。「診断・核医学」、「放射線治療」の何れかを選択して受験して下さい。同時に二つの部門の受験は認めません。  
なお、すでにどちらかの部門に合格している場合は受験できません。下記の受験資格に注意してください。受験希望者は必要書類をそえて期日までに出席してください。

### 記

試験の期日 平成 20 年 8 月 22 日（金）筆記試験  
8 月 23 日（土）口答試験

試験の場所 東京都内

試験の内容 1) 放射線診断学  
2) 放射線治療学  
3) 放射線管理 1), 2) に含む

試験の方法 口答試問および症例を中心とした筆記試験（第 16 回平成 19 年 8 月 24 日施行の筆記試験問題は学会ホームページに掲載されています。）

受験手続 出願開始 平成 20 年 4 月 7 日（月）  
締 切 平成 20 年 5 月 16 日（金）必着

- ◎ 受験を希望される方は、二次願書と表記し自分の宛先（住所・氏名）を書いた返信用封筒（A4 サイズの封筒、140 円切手貼付）とともに学会に申し込めば、必要書類を送付します。
- ◎ 認定試験の受験資格  
認定試験は、学会の会員で、次の各号に該当するものでなければ受験することができない。
  - (1) 日本国の医師免許を有すること。
  - (2) 医師法（昭和 23 年法律 201 号）第 3 条および第 4 条の規定に該当しないこと。
  - (3) 一次試験合格者で、その後 2 年は学会が認定した修練期間あるいは協力機関において、診断・核医学または治療を研修したもの。
  - (4) 診断・核医学の試験受験者は、日本医学放射線学会雑誌投稿論文（主著者）あるいは放射線画像データ管理システム（日本医学放射線学会ホームページからアクセス）に、7 月末日まで一例の症例登録を必要とします。
- ◎ 出願に当たっての質問は、書面で専門医認定委員会に問い合わせてください。
- ◎ 学会本部：〒113-0033 東京都文京区本郷 5 丁目 1 番 16 号  
NP-II ビル 3 階  
社団法人 日本医学放射線学会